



第 22 回 オリーブ千葉世話人会

2016 年 5 月 22 日(日)15 時～18 時
於 京成線臼井駅、イオン 3 階会議室
議事録

A) オリーブ千葉のありかたについて:

- ・参議院選挙の支援:

青木愛事務所: <住所> 東京都北区岸町 1-2-9 (JR 王子駅前)
<電話> 090-4822-8215

参院選では、青木愛を応援する。千葉北部を中心にポスター貼りや駅頭支援を行う。ポスター貼りを先行させる。

- ・チラシ(オリーブ通信第 3 号)の検討

事実を中心に、これでいいですかと呼びかける内容にする。最終案を世話人同士で調整する。

B) オリーブ千葉の活動報告:

B-1) 農業プロジェクト (5 月 14 日(土)、茨城県つくば市長高野の農場にて)

オリーブ千葉として、何でも反対の政治活動だけでなく、これまでの活動の成果を踏まえて、地に足のついた活動を行う。その一環として、農業プロジェクトに取り組む。最初に幸塾の土壌づくりを経験した茨城の農家を訪問した。ジャガイモ、トマト、白菜、黒豆の植え付けを手伝った。今後幸塾の会員になって情報収集に努める。

B-2) 第 15 回オリーブ千葉読書会: 富岡幸雄著『税金を払わない巨大企業』(文春新書)、 (5 月 15 日(日)14 時～17 時: 於 船橋歌うんだ村)

税制面での巨大企業優遇のすさまじい実態について学んだ。その現状と経緯、今後の方向性について議論した。タックスヘイブンについては、英米とヨーロッパの対立の深刻さに驚いた。今後は、オリーブ千葉の PR 作戦の一環として、読書会の簡単な記録・感想などを、ツイッターでも発信する必要がある。

B-3) ホームページ(平均入場者: 10.5 名/日)、フェイスブックの更なる充実の方法

B-4) オリーブ千葉のありかたについて

- ・バラバラだった個人の思いをつなげるプラットフォームづくりには一定程度成功したのではないか。政治的に無関心な中間層に声を届けるための活動や、そのための理論を鍛えるための読書会を行っている。しかし、なかなかオリーブ千葉のウイングを広げるのは難しい。また、他団体との連携も難しい。
- ・集会の手伝いに追われて、総会も開けていない。総会は開いてほしい。どこかでやるつもりなのか。

- ・オリーブ千葉の方向性は良い。プラットフォームを広げるためにはどうするか、オタクの集団のままでは困る。
- ・会員の活動はあまり期待できない。
- ・会費も集めないこともあって、会員としての意識が足りないのではないだろうか。
- ・読書会にもしりごみする人も多い。一般の市民は、政治活動に慣れていないし、そもそも顔が見えることを怖がるようだ。
- ・オリーブ千葉としての認知度をチェックする必要がある。とりあえず、オリーブ千葉の宣伝戦略を見直すべき。
- ・二見さんや平野さんのコメントを積極的にツイッターに発信する。
- ・集会のお知らせも含めて、ツイッターやフェイスブックをもっと活用しよう。

B-5) 他団体・個人との新規の連携の模索

印旛市民集会で、制服向上委員会よりシールズの実情の報告があった。明治大学はシールズの本拠であるが、若者が集まらなかったらしい。その理由は、就職活動とか燃えつき症候群とか、あるいは野党共闘の前進の中で、運動の前面から退いただけなのか、もっと見極める必要がある。

C) オリーブ千葉の今後の予定・計画:

C-1) ・第 16 回オリーブ千葉読書会: 樋口陽一・小林節著『「憲法改正」の真実』(集英社新書)、
(6月12日(日)14時~17時: 於 船橋歌うんだ村、会場予約済)

C-2) ボランティア活動

・オリーブ千葉チラシ配布 (6月12日(日)12時30分~13時30分: 於 JR 津田沼駅南口)

C-3) 他団体・個人との新規の連携の模索

D) 第 23 回オリーブ千葉世話人会の予定:

・6月19日(日)14時~17時: 於 京成線臼井駅南口イオン 3階会議室、会場予約済

オリーブ千葉の理念・目的・活動方針等について (再確認)

・ 理 念

- * 「自立と共生」からなる豊かな社会を実現する。
- * 現行憲法の基本理念を遵守し、国民の生活を第一に考える政策を実現する。
- * 協調主義を尊重する。

・ 目 的

- * 緩やかで開かれた市民の会というプラットフォームを構築する。

- * 会員間の親睦と協調と知的交流を促進する。

- ・ **活動方針**

- * 政権交代に資するボランティア支援を実施する。
- * 基本政策を共有する団体・グループと協働する。
- * オリーブ千葉情報ネットワークを利用して、会員相互の情報交換および一般向けの情報発信を行う。
- * 勉強会、読書会、講演会、イベント、街頭活動などを実施する。

- ・ **基本政策**

- * 医療・社会保障・子育て・農林水産業を守り、貧困のない安心社会を実現する。
- * 地域が中央から自立した活力ある社会に改革する。
- * 原発再稼働は認めず、持続的なエネルギー社会に転換する。
- * 行財政改革の実現と安心な雇用環境が整うまで、消費税の増税を凍結する。
- * 情報公開を進め、国際協調を基軸として、専守防衛と平和外交に徹する。
- * 生物多様性を保全し、自然と共生した社会をめざす。

- ・ **<ねらい>**

- * 政治状況への異議申し立て
- * ミニ・シンクタンクへの志向
- * 望ましい未来社会への模索